

証券コード：5957

第115期

KIZUNA通信

2020年1月1日 ▶ 2020年12月31日

NITTOSEIKO

日東精工株式会社



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第115期（2020年1月1日から2020年12月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、その概要をご報告申し上げます。

株主のみなさまへの利益還元について

当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと位置づけ、企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保に努めつつ、業績に見合った安定的かつ適正な配当の継続を利益配分の基本としております。

第115期の配当金につきましては、中間配当4円、期末配当4円50銭の年間8円50銭とさせていただきます。また、次期の配当金につきましては、1株当たり年間13円を予定しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による各国の都市封鎖や外出制限措置を背景に、企業の生産活動や個人消費が低迷し、極めて厳しい状況でスタートしました。途中、感染状況に落ち着きが見られ、社会経済活動の段階的な引き上げで景気回復が期待されたものの、後半は感染が再拡大し、一部の国で再び部分的封鎖が実施されるなど、観光やサービス業をはじめ、あらゆる産業の機能が麻痺した一年となりました。

このような経営環境において、当社グループは、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”（2019年～2022年）」のもと、新たな事業の柱の一つとしてメディカル新規事業部を立ち上げ、一般手術・診療用照明器「フリーレッド」を開発し販売を開始しました。また、計測制御システム機器の海外展開を加速するため、分析・計測機器分野を得意とし、充実した海外販売ネットワークを持つ企業を子会社化するなど、事業領域を拡充するための施策を積極的に展開してまいりました。一方、環境の変化への対応力の向上と不測の事態を切り抜ける強い企業文化の醸成を目的とした前例主義廃止改革に全社一丸で取り組むなど、低重心経営に努めました。

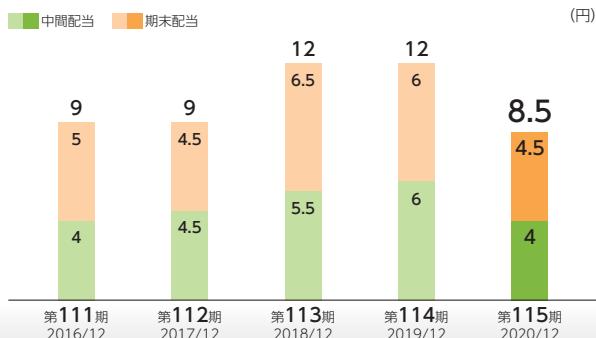
その結果、当連結会計年度の売上高は329億4百万円（前期比5.6%減）、営業利益は13億3百万円（前期比49.8%減）、経常利益は14億1千8百万円（前期比50.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億6千4百万円（前期比60.5%減）となりました。

当連結会計年度の業績は大きく後退しましたが、次期はキャッシュ・フローに注視しつつ、成長戦略を再び軌道に戻し、経営方針「高い目標の達成を、高い志で目指す企業集団になろう」のもと、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」の目標達成を目指してまいります。

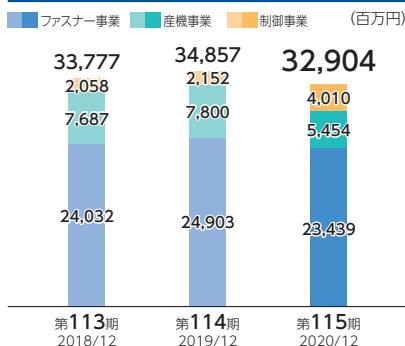
株主のみなさまにおかれましては、今後とも借旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 材木正己

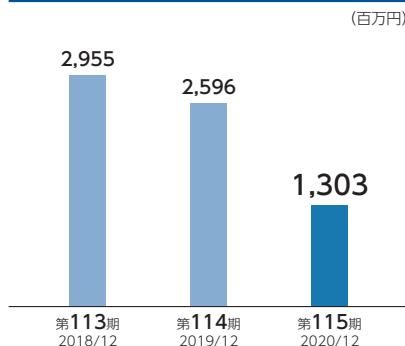
1株当たりの配当金の推移



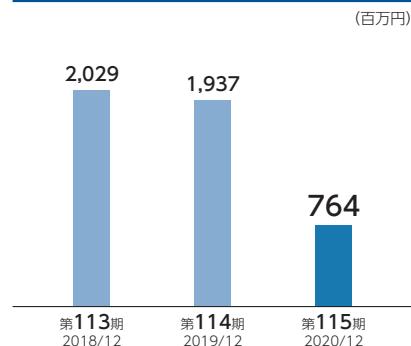
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



セグメント概況

ファスナー事業

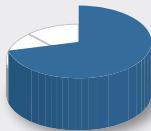


主な製品

精密ねじ、セルフタッピンねじ、ゆるみ止めねじ、特殊冷間圧造部品、複合部品、異種金属接合部品、ねじ製造用工具

売上高構成比

71.2%



売上高
23,439百万円
前期比 5.9% DOWN

- ▶ 精密ねじは、コロナ禍における外出自粛や大学のオンライン授業・企業のリモート会議などの対応を背景に、ゲーム機やパソコンの需要が好調に推移。
- ▶ 一般ねじは、新しい生活様式における通勤・通学的手段として注目される自転車向けの需要が増加したが、コロナ前の経済水準までの回復には至らず厳しい状況。
- ▶ 自動車の電動化による蓄電池の需要拡大を見据えて、異なる金属同士を強固に密着させる「AKROSE」の販売促進と生産体制の拡充を図った。
- ▶ 「AKROSE」に拡散接合を施した「AKROSE HYBRID」や高精度で大量生産を可能にした「ギヤ部品」を開発し、市場に投入した。
- ▶ 香港の子会社が、中国の広東省に新会社を設立し、中国南部地区の需要拡大に努めた。

産機事業

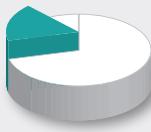


主な製品

ACサーボねじ締めドライバ、ねじ締め機、ねじ締めロボット、ねじ供給機、リベットかしめ機、自動組立機

売上高構成比

16.6%



売上高
5,454百万円
前期比 30.1% DOWN

- ▶ 国内は、自動車のCASEに関わる設備需要が好調に推移。
- ▶ 中国において、各地の自動車の購入促進政策の導入を背景に、自動車関連業界の設備需要が堅調に推移。
- ▶ 新型コロナウイルスの収束時期の不透明感から、多くの業界において設備投資計画が凍結・延期されるなど、事業環境は、標準機・自動組立ライン共に厳しい状況。
- ▶ IoTなど産業ネットワークに対応したコントローラ「RC77-T1」を開発し需要の拡大に努めた。
- ▶ CASE市場を中心に、自動車関連業界で評価が高い高機能型ドライバの販売促進に取り組んだ。

制御事業



主な製品

流量計、計装システム、検査選別装置、マイクロバブル洗浄装置、地盤調査機、元素計、水分計

売上高構成比

12.2%



売上高
4,010百万円
前期比 86.3% UP

- ▶ 流量計は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に消毒液の需要が増加し、医薬品業界で好調に推移したが、主な需要先である造船業界を中心に需要が低調。
- ▶ システム製品および地盤調査機「ジオカルテⅢ」は、一部に需要回復の動きが見られるものの、設備投資計画の凍結・延期の動きが強く、売上に貢献するまでには至らず。
- ▶ M&Aにより分析・計測機器の売上が大幅に増加。
- ▶ スクリューウェイト貫入試験を迅速・確実に自動化する「ジオカルテⅣ」および「ジオカルテⅣ SDS」を開発し需要の拡大に努めた。
- ▶ 防爆エリアで安全な定量計測を可能にする定量パッチ制御装置「防爆パッチカウンタPX2」、日中の屋外環境下でも優れた視認性で流量管理を可能にする「高輝度大型表示器DS1」を市場に投入した。

2021年度 日東精工グループ 価値創造モデル



2021年度 経営方針

「高い目標の達成を、高い志で目指す企業集団になろう」

～ポジティブな思考で具体的施策を実践し、グループ最高業績の実現へ再アタックしよう～

経営重点 — 社会に必要とされる価値ある企業となるために

1 持続的成長企業を目指します

当社グループの持続的成長のために業績拡大と次代への種まきに注力

高いレベルでのお客様満足の提供、価値ある新製品の創出、ならびに、次代の売上の種である新しい事業の育成に全力を注ぎます。目標達成のためのあるべき姿を描き続け、現実とのギャップを数多くの施策でカバー、そしてそのプロセスをNPI（日東精工進捗指標）で厳しく管理し粘り強く実践していきます。

2 環境貢献企業を目指します

当社製品を通じ環境社会の実現に貢献し、企業価値を高める

当社自身の環境負荷軽減の取組みだけではなく、当社製品を通じてお客様の環境への取組みを支援していきます。当社SDGsの取組みでも、重要課題は「お客様の重要課題の解決」と位置付けて、既存製品も「環境負荷の低減への貢献」という新しい切り口で説明するなど、お客様の環境対応の課題解決をフォローします。

3 デジタル革新企業を目指します

デジタル革新を積極的に取り入れ、新しい仕事の進め方に革新

新型コロナウイルスはニューノーマル（新常識）のための技術革新を引き出しました。その一つがデジタル革新。今年は当社のデジタル改革年と位置付け、ITを活用し仕事の進め方やモノづくりの仕組みを改革し、原価低減に結び付けます。当社製品の機能にも先進のIT、IoT、AI機能を付加し、お客様のモノづくりや社会そのものの変革を支援します。

4 グローカル推進企業を目指します

地域の活性化とグローバル化を両面で推進

ヨーロッパ、南アジアといった戦略エリアへのビジネス拡大に挑戦。一方で地域、地元との結びつきも大切にします。世界への拡大に向け安心して事業を行うために、シンク・グローバル、アクト・ローカルの精神で、地域への社会貢献や経済活性化に力を注ぎます。

5 人財活性化企業を目指します

多様な人財の活用と働き方改革を推進

ダイバーシティ経営や健康経営、女性活躍推進などは、従業員の働きがいや満足度を高めるだけでなく、生産性や業績を高めるものでなければなりません。従業員がそれぞれの力を十分発揮できるための業務改革、制度改革、風土改革に取組み、活気ある企業づくりを進めます。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 (2019年12月31日現在)	当連結会計年度末 (2020年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	28,726	27,704
固定資産	17,263	18,517
有形固定資産	12,799	12,933
無形固定資産	234	1,421
投資その他の資産	4,229	4,162
資産合計	45,989	46,222

POINT
1

POINT 1 原材料及び貯蔵品やM&Aによるのれんの増加などにより2億3千3百万円増加しました。

科目	前連結会計年度末 (2019年12月31日現在)	当連結会計年度末 (2020年12月31日現在)
負債の部		
流動負債	12,074	11,618
固定負債	4,313	4,745
負債合計	16,388	16,364
純資産の部		
株主資本	27,042	27,445
その他の包括利益累計額	△ 413	△ 577
非支配株主持分	2,971	2,989
純資産合計	29,600	29,858
負債純資産合計	45,989	46,222

POINT
2

POINT 2 利益剰余金の増加などにより2億5千7百万円増加しました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)	当連結会計年度 (2020年1月1日から 2020年12月31日まで)
売上高	34,857	32,904
売上原価	26,379	25,263
売上総利益	8,477	7,640
販売費及び一般管理費	5,880	6,337
営業利益	2,596	1,303
営業外収益	404	381
営業外費用	147	266
経常利益	2,853	1,418
特別利益	204	47
特別損失	87	105
税金等調整前当期純利益	2,971	1,359
法人税等	875	457
当期純利益	2,095	902
非支配株主に帰属する当期純利益	158	137
親会社株主に帰属する当期純利益	1,937	764

POINT
3

POINT 3 税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費や売上債権の減少などの収入項目が、仕入債務の減少や法人税等の支払などの支出項目を上回り、33億2千1百万円の収入となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)	当連結会計年度 (2020年1月1日から 2020年12月31日まで)
3 営業活動による キャッシュ・フロー	2,633	3,321
投資活動による キャッシュ・フロー	476	△ 3,118
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 665	△ 870
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 18	△ 45
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	2,426	△ 712
現金及び現金同等物の 期首残高	6,055	9,012
現金及び現金同等物の 期末残高	9,012	8,299

一年の主な活動

※  は当社グループのCSR活動の一部をご紹介します。

<p>1月</p> <p>「第10回 クルマの軽量化技術展」 (東京ビッグサイト)に 出展</p>	<p>代表取締役社長 材木正己の著書 「絆経営で目指す 新しい地方創生」が 東京経済大学の テキストに使用</p>	<p>「第二種医療機器製造 販売業許可」と 「医療機器製造業登録」 を取得</p>	<p>2月</p> <p>「ひろしまAI・IoT進化型 ロボット展示会2020」 (広島産業会館)に出展</p>	<p></p> <p>「健康優良企業認定証 「銀」」を取得</p>
<p>3月 </p> <p>受験生応援 ねじプレゼント 延べ2万8,000人を 突破！</p>	<p></p> <p>「健康経営優良法人 2020」に認定</p>	<p>4月</p> <p>メディカル新規事業 開始</p>	<p>防爆エリアで安全な 定量計測を可能にする 「防爆バッチカウンタ PX2」を新発売</p>	<p>株式会社三菱ケミカル アナリテックの 全株式を取得し 連結子会社化(新社名: 日東精工アナリテック 株式会社)</p>
<p>株式会社伸和精工 新工場が完成</p>	<p>高精度で大量生産を 可能にした「ギヤ部品」 を新発売</p>	<p>5月</p> <p>異種金属接合 「AKROSE」関連の 論文が「型技術論文賞」 を受賞</p>	<p>6月</p> <p>屋外環境下でも優れた 視認性を確保する 「高輝度大型表示器 DS1」を新発売</p>	<p>7月</p> <p>医療用照明器 「フリーレッド」を 新発売</p> <p>詳細はP.7へ</p>
<p>8月</p> <p>香港和光精工有限公司が、 東莞和光汽車零配件 有限公司を設立</p>	<p>日東公進株式会社が ロボットビジョンを 搭載した「部品供給機」 を新発売</p>	<p>異種金属接合 「AKROSE」について 「地域未来投資促進法」 にもとづく当社の 「地域経済事業計画」が 京都府より承認</p>	<p></p> <p>綾部市図書館に 児童書・教育書を寄贈</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p>9月</p> <p>スクリーンウエイト買入試験を 迅速・確実に自動化する 自動買入試験機「ジオカルテV」 を新発売</p> <p>詳細はP.7へ</p>
<p>自動ねじ締め機 FEEDMAT FMシリーズに 「IoT対応モデル」を 新発売</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p>日東精工 SWIMMY株式会社が 「京都はあとふる企業」 に認証</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p>約100人分の </p> <p>ポリオワクチンにあたる ペットボトルキャップを 収集</p>	<p>10月</p> <p>異種金属接合「AKROSE」 に拡散接合を加えた 「AKROSE HYBRID」を 開発</p>	<p>「第23回 関西 機械要素技術展」 (インテックス大阪) に出展</p>
<p>日東精工アナリテック 株式会社が自動粉体 抵抗測定システム 「MCP-PD600」を 開発</p>	<p>11月</p> <p>異種金属接合「AKROSE」 が素材材産業技術賞表彰 で受賞</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p>日東精工アナリテック 株式会社が最先端 科学・分析システム& ソリューション展 「JASIS2020」 (幕張メッセ)に出展</p>	<p>任意の指名報酬委員会 を設置</p>	<p></p> <p>受験生応援グッズ、 ゆるみ止めねじ 「ギザタイト」を プレゼント！</p>

異種金属接合「AKROSE」が 素形材産業技術賞表彰で受賞

当社ファスナー事業部が開発した異種金属接合「AKROSE」が素形材産業技術賞表彰で、(一財)素形材センター会長賞を受賞しました。「AKROSE」は従来の接合方法とは一線を画す新技術であり、強度が優れているだけでなく素材形状を調整することで複雑な接合形状も実現が可能です。2020年10月には、これをさらに進化させた「AKROSE HYBRID」を新発売するなど、技術革新を進めております。



自動ねじ締め機FEEDMAT FMシリーズに 「IoT対応モデル」を新発売

今般、高速・高精度処理が可能なPLC(プログラマブルコントローラ)を搭載したコントローラ(RC77-T1)を開発しました。自動組立には欠かせないコントローラですが、従来品では、拡張可能な産業ネットワークの種類が限られており、多様なプログラムを追加することが難しく、IoTへの対応に課題がありました。それらを改善し、産業ネットワークの拡充とフレキシブルなプログラム対応を可能にしたものです。

今後もお客様のニーズに柔軟に対応してまいります。



スクリーウエイト貫入試験を 迅速・確実に自動化する 自動貫入試験機「ジオカルテⅣ」を新発売

宅地の地盤調査で広くご使用いただいているスクリーウエイト貫入試験を迅速・確実に自動化する「ジオカルテⅣ」および「ジオカルテⅣSDS」を開発いたしました。

「ジオカルテⅣ」は「より信頼性の高い地盤調査と作業効率の向上」をコンセプトに実績豊富なジオカルテをさらに機能アップさせた製品です。更なる効率化の追求はもとより、試験データ出力の利便性向上を図り、より信頼性の高い地盤調査を実現することで、安全で安心した住まいづくりをサポートしてまいります。



医療機器分野に参入 医療用照明器「フリーレッド」を新発売

「フリーレッド」は、一般手術または診療に用いる光を発生させる装置です。

電源ボックスを介してライトユニットに電源を供給することにより、ライトユニットが自然光に近い光色で、かつ高輝度の光を発します。電源ボックスには、ライトユニットが最大3本接続可能です。手術時の補助照明装置として使用する場合には、簡単に術野を自然光に近い光色で照らすことができます。



日東精工SWIMMY株式会社が 「京都はあとふる企業」に認証

日東精工SWIMMY株式会社が、障がいのある方を積極的に雇用しているとして「京都はあとふる企業」の認証を受けました。同社は、障がいのある方の能力を最大限発揮していただくことを目的に設立された当社の特例子会社です。今後も就労機会の拡大や働く環境の改善に貢献してまいりたいと考えています。

子どもたちのために 綾部市図書館に児童書・教育書を寄贈

当社は、CSR(社会貢献活動)の一環として、2015年より「次の世代につなげる大切さ」を形にするため、児童書・教育書を綾部市図書館に寄贈する取り組みを実施しております。多くの子どもたちのかけがえのない笑顔は当社事業にとっても大きな原動力であり、2020年も寄贈を行いました。

～戦後の混乱を乗り越え、自社製品の開発へ～

1945（昭和20）年、終戦直後の大混乱のなか、GHQからの指令で軍需生産は一切停止となり、軍需産業へと組み込まれていた当社も失業状態が続きました。このような現状を鑑みて、休眠会社として徐々に再建を図っていくのが最善と判断し、2年間、事業設備の全てを郡是工業様（現グンゼ様）へ賃貸するとともに、従業員も全員移籍しました。

1947（昭和22）年9月から再び独自に製造販売活動を開始しますが、経営状況は苦しく「日東を死守しようと悲壮な覚悟で再建を誓った」と、当時の労務課長の手記に記されています。

営業担当者は、早朝に綾部を出発し、あらゆる人脈を頼りに京阪神方面の会社を訪問してなんとか仕事と資材をもらい受け、深夜に帰着するという生活を送りました。一方で鋏、火箸、吸物椀などを製造しては農山村に売り歩きました。日用品は欠乏しており造れば何でも売れましたが、その日暮らしのような状態は続きました。長い苦難の末、ダイハツ工業様の自動車部品や千代田光学精工様（現コニカミノルタ様）の写真機部品を加工するようになり、ようやく工場に活気がよみがえりました。

終戦による苦境を乗り越えて、次の目標は自社製品の開発に置きました。日東精工の技術と機械をそのまま生かせる製品を検討した結果、地方自治体に直接納める「量水器」に取り組むこととなります。1948（昭和23）年5月に度量衡法による量水器の修復免許を取得し、福知山市と京都市から既存機器の修理を受注。翌年11月には通商産業省（現経済産業省）から製造免許を取得し、試験設備も充実させて量水器の製作に乗り出します。営業担当者は行商人さながらに、試作品を20個も入れた重いリュックサックを背負って各市への訪問を繰り返し、今日の制御システム事業部の基礎を築いていきました。

当社は苦難の時代にあろうとも、粘り強く着実に成長を遂げてきました。今後も世界中に認められ求められる企業グループを目指し、新たな挑戦を続けてまいります。

初期生産品



量水器



量水器 (13ミリ)

現行生産品



スーパーロータリ流量計RQ



質量流量計FB

会社概要

CORPORATE PROFILE

(2020年12月31日現在)

会社概要

社名 日東精工株式会社 (NITTOSEIKO CO., LTD.)
本社所在地 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
設立年月日 1938年2月25日
資本金 3,522,580,100円
従業員数 551名
主な事業内容 各種工業用ファスナーの製造販売
各種自動組立機の製造販売
各種流量計および検査装置の製造販売

国内の事業所

本社	京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20	電話 (0773) 42-3111
東京支店	神奈川県横浜市港北区綱島東6-2-21	電話 (045) 545-3313
大阪支店	大阪府東大阪市本庄西1-6-4	電話 (06) 6745-8357
名古屋支店	愛知県名古屋市中区上社5-405	電話 (052) 709-5061
北関東営業所	群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3	電話 (0276) 63-8158
広島営業所	広島県広島市東区光町1-12-20 2階	電話 (082) 207-0622
九州出張所	福岡県福岡市博多区半道橋1-6-46	電話 (092) 411-1724

取締役、監査役および執行役員

(2021年3月30日現在)

(代表取締役) 取締役社長	材木正己	監査役(常勤)	北谷明
(代表取締役) 常務取締役 常務執行役員	荒賀誠	監査役(社外)	溝口克彦
(代表取締役) 常務取締役 常務執行役員	澤井健	監査役(社外)	多賀野博一
取締役 執行役員	上嶋伸宏	執行役員	浅井基樹
取締役 執行役員	山添重博	執行役員	石原雅和
取締役 執行役員	松本真一	執行役員	小雲康弘
取締役(社外)	塩見満	執行役員	桐村和也
取締役(社外)	平尾一之		
取締役(社外)	勝見九重		

株式の状況

STOCK INFORMATION

(2020年12月31日現在)

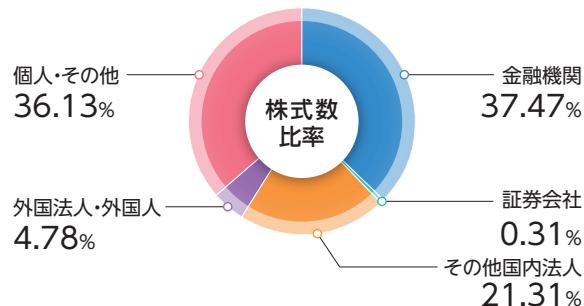
株式の状況

発行可能株式総数	98,800,000株
発行済株式の総数	39,985,017株
株主数	4,019名
大株主	

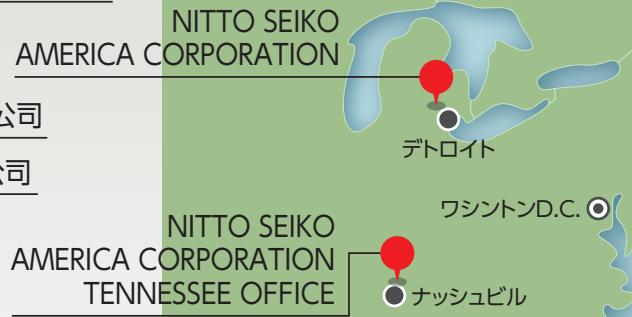
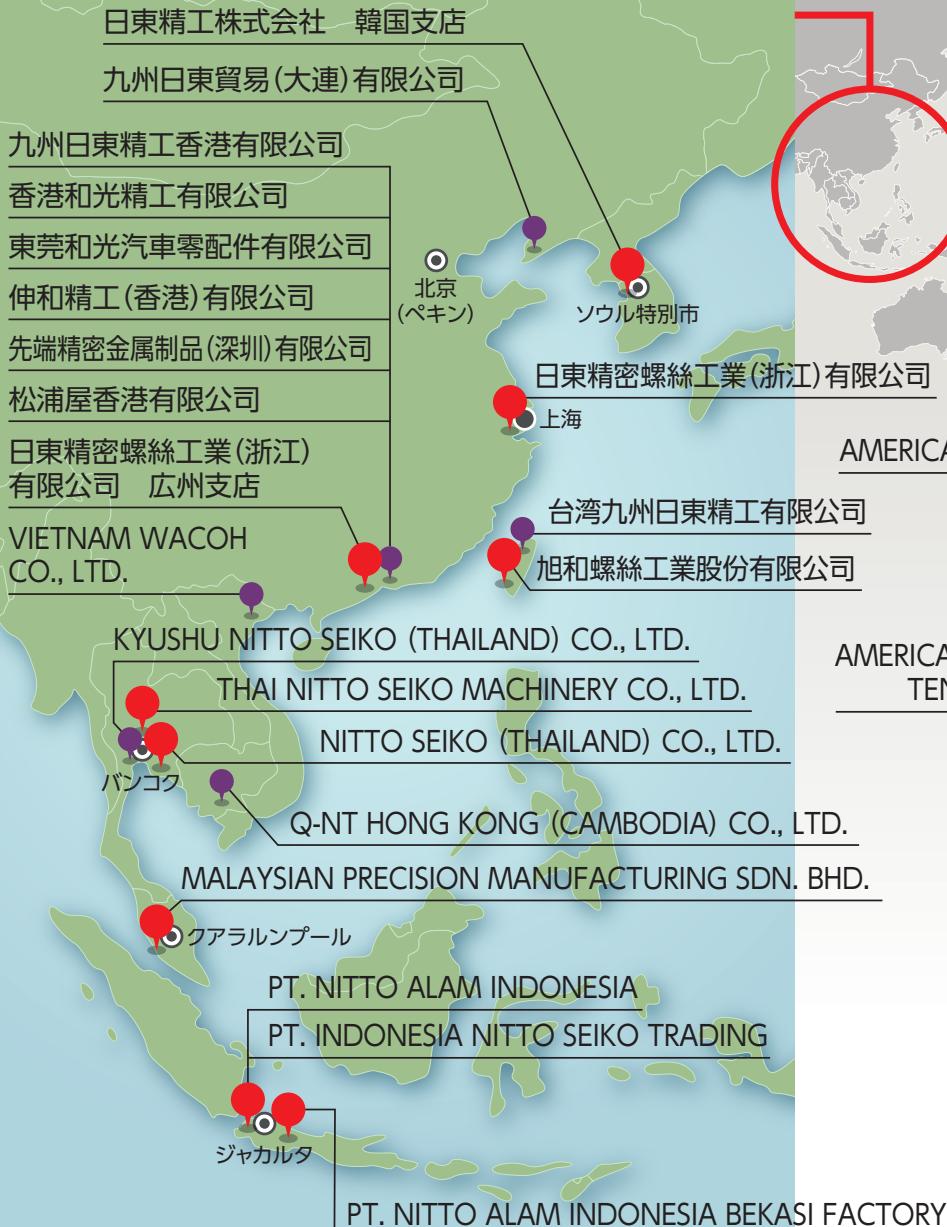
株主名	持株数	持株比率
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,554(千株)	9.55(%)
日東精工協友会	3,103	8.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,277	6.12
株式会社京都銀行	1,855	4.99
グンゼ株式会社	1,784	4.80
神鋼商事株式会社	1,499	4.03
三井住友信託銀行株式会社	1,350	3.63
株式会社三菱UFJ銀行	1,347	3.62
日東精工従業員持株会	784	2.11
日本生命保険相互会社	619	1.66

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。
2. 自己株式2,802千株を除いて計算しております。

所有者別株主分布状況



GLOBAL NETWORK



- 海外拠点
- グループ会社

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL (<https://www.nittoseiko.co.jp/>)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社では、ホームページにて企業情報を随時開示しております。製品情報、新着情報等のほか、IR・株主情報のサイトでは、決算短信等を掲載しております。

また、CSRページでは統合レポートも掲載しております。

<https://www.nittoseiko.co.jp/>

